

施設新設・改修に伴う AV 機器の整備(池袋)

1. 概要

2021 年度春学期開始に合わせて 6 号館の改修が行われ、これに伴い AV 機器の整備を行った。改修により、3 階の 1 教室および 5 階の 6 教室全てが外国語教育研究センターの事務室に、4 階の演習室 4 室が統合され 40 名規模の講義室 2 室に、さらに 4 階ラーニングスペースが 20 名規模の演習室 1 室に改修された。

これに対し、新しくなった 4 階講義室 2 室に AV ラックを、演習室 1 室にディスプレイを設置した。また、対面授業を同時にオンライン配信するミックス型授業が実施できるよう、講義室には改修前の演習室にて導入されていたディスプレイを生かし Web カメラつきサウンドバーを、演習室は新たにディスプレイと Web カメラつきサウンドバーのセットを導入した。

この他に、4 号館 4342 教室への教室カメラ設置、マキムホール M201・M202 教室のプロジェクター改修を行った。

池袋キャンパスの AV 機器タイプ別の教室の構成は、6 号館の改修に伴い、AV ラック型の教室は前年度より 2 室増加、ディスプレイ型は 10 室減少し、全体で教室は 8 室減少となった。

また、新型コロナウイルス感染対策として教室の収容人数が見直され、AV ラック型の教室の収容人数が大きく変化した。教室の AV 機器の構成は表 1 のとおりである。

2020年											2021											
教室タイプ	収容人数	室数	操作卓	簡易	AV	IBAV	Sラック	ディスプレイ	ワゴン	PC	教室タイプ	収容人数	室数	操作卓	簡易	AV	IBAV	S	ディスプレイ	ワゴン	PC	
演習室	～19名	30			1		6	8	15		演習室	～19名	30			1		6	8	15		
	20～29名	52			1		16	35				20～29名	43			1		17	25			
	30名～	6			4		2					30名～	28		2	25		1				
語学教室	40～49名	26		7	19						語学教室	40～49名	24		5	19						
	50～59名	35		4	31							50～59名	18		4	14						
	60～69名	13		4	7	2						60～69名	17		4	11	2					
	75名～	7			7							75名～	2			2						
	～99名	5		3	2							～99名	5		3	2						
講義教室	100～149名	13	2	10	1						講義教室	100～149名	12	2	10							
	150～199名	2	2									150～199名	2	2								
	200～249名	12	11	1								200～249名	12	11	1							
	250～299名	6	6									250～299名	6	6								
	300～349名	2	2									300～349名	2	2								
	350～399名	1	1									350～399名	1	1								
	400～449名	1	1									400～449名	1	1								
	450～499名	1	1									450～499名	1	1								
	500名	1	1									500名	1	1								
	605名	1	1									605名	1	1								
PC教室	48名	6									PC教室	48名	6								6	
	72名	5										72名	5								5	
その他	36名	1									その他	36名	1								1	
	その他	2										その他	2									2
合計		229	28	29	73	2	24	43	19	11	合計		221	28	29	75	2	24	33	19	11	

表 1：教室 AV 機器タイプ構成(2021 年)

2. 6号館

(1). 6401 教室、6402 教室

構成は池袋キャンパスの 10 号館 3 階の AV ラック型に準拠し、プロジェクター、電動巻上式スクリーン、スピーカー、電子錠対応 AV ラックとなっている。

システム電源及びラックの解錠はこれまでと同様に、カードキーまたは専任職員の勤務員証で可能とした。

ノート PC の接続は HDMI を主とし、その他ブルーレイプレーヤーと OHC がボタン切替でスクリーンに投影できるようになっている。

ミックス型授業対応として既存のディスプレイを利用し、Web カメラ付きサウンドバーを設置した。

【構成】

- ・液晶プロジェクター (6,500 ルーメン)
 - ・電動巻上式スクリーン (100 インチ)
 - ・スピーカー
 - ・書画カメラ
 - ・ブルーレイプレーヤー
 - ・ポータブル CD ラジカセ
 - ・有線マイク
 - ・オンライン対応用：液晶ディスプレイ (既存)
- ビデオサウンドバー



図 1：6401 教室全景



図 2：6402 教室全景



図 3：6401・6402 教室ラック外観



図 4：6401・6402 教室サウンドバー

(2). 6403 教室

既存の 20 人規模演習室に倣い、ディスプレイと Web カメラ付きサウンドバーを設置し、ミックス型授業が行える環境とした。

【構成】

- ・液晶ディスプレイ (55 インチ)
- ・ブルーレイプレーヤー
- ・ビデオサウンドバー



図 5 : 6403 教室全景



図 6 : 6403 教室ディスプレイ

(3). 4342 教室

オンライン授業やミックス型授業において、教室での板書を配信したいという要望が挙がるようになった。特に理学部の授業において、黒板を全面使用する機会が多いことから、理学部の授業利用の多い 4342 教室にはオンラインに板書の映像を取り込める天井カメラを設置した。また、カメラの操作は卓上のタッチパネルにて行える仕様とした。



図 7 : 4342 教室内カメラ



図 8 : 4342 教室内カメラ (拡大)



図 9 : 4342 教室タッチパネル

(4). M201、M202 プロジェクター交換

経年劣化（2011年導入、11年経過）により、スクリーンに投影中にフリーズする症状がみられていたプロジェクターを2教室分交換した。

M201、M202 教室はシステムがデジタル化対応をしておらず、アナログをデジタルに変換して入力している。機器の効果を最大限に発揮させるためにも、映像システムの改修が望ましい。

【構成】

- ・メインプロジェクター (9,000ルーメン)
- ・サブプロジェクター (7,000ルーメン)

3. 2021年度のとまとめ

2021年度は対面授業が再開し、多くの授業でミックス型が実施されたことを受け、教室が改修された6号館についてもオンライン配信ができるよう整備をした。

また、対面授業により教室利用が再開すると、機器の更新が遅れている教室での不具合が目立った。特に、システムがデジタル化対応していない9号館大教室や11号館、マキムホールは、デジタルに変換するために利用方法が複雑になっており、度々サポートが必要となった。

利用者の利便性向上のためにも、今後更新が遅れているこれらの教室の改修を検討する必要がある。